

# 政治学概論Ⅰ

## (3) 代表と議会

# 代表の難しさ

民主主義の条件 = 平等な選挙権と公正な選挙で選ばれた代表者による議会

法の支配 ⇔ 代表者が議会で法を制定する

国会議員は、内閣総理大臣は、果たして我々を代表しているのか？

代表制の困難さが（間接）民主主義の本質ではないか

# 政治（politics）と民主主義（democracy）の起源

◆古代ギリシャの都市国家（紀元前 8 世紀～）市民による自由な議論・意見交換による決定と統治＝「政治」の出発・民主政

（ソクラテス、プラトン、アリストテレス「政治学」）

←近代的な議会制民主主義でなく、直接制の住民自治のイメージ  
公共と責任の概念　デマゴグ　衆愚政治への批判も

◆古代ローマの共和政（republic）（紀元前 6 世紀～）

「公共の利益」という概念、君主政、貴族政、民主政の組み合わせによる相互チェック→専制、衆愚政治を避ける

# ヨーロッパの議会制民主主義

封建制社会の国王と貴族（領主）の交渉の場  
→ イングランド・ジョン王「マグナ・カルタ」  
（13世紀初）王権の制限、憲法典の発

イギリス・フランスの近代国家化 アメリカ建国  
ホッブス「レヴァイアサン」 ロック「統治二論」  
ルソー「社会契約論」 ジェファークソンらの合衆国憲法  
→ 市民の自由と安全を守る国家の正統性（正当性）と、  
王権の制限・法の支配・代表（議会）による政治  
＝ 代議制民主主義が浸透してゆく（17世紀～18世紀）

## 代表と議会の役割＝民主主義の課題

- 執政府の代表者＝大統領（直接選挙で選ばれることが多い）
- 首相＝議員という代表者を選び、その中から政府責任者を選ぶ

代表の決め方→近代で選挙という形が一般化×抽選（くじ引き）  
国民（市民）と代表との距離、政府の役割増大と議会の形骸化  
「白紙委任したわけではない」「投票日だけの有権者」

直接民主主義の試み⇒国民投票・住民投票

「世論」の影響力、マスメディア、世論調査

W e b 投票は民主主義を活性化するか、その反対か？